

Atsugi

Public Relations Paper Atsugi City

広報あつぎ 

特別号 厚木市 2020
事業と予算のあらまし



2020年度の目玉事業を一挙に紹介



令和元年の初日に出生届を出した家族と

● 2020年度 施政方針要約 ●

大きく輪を広げる 人と人とのつながり

市議会第1回会議の初日、市政運営の考え方や重点的に取り組む施策を表明しました。議会では、総額1496億486万7千円の「あつぎの元気大輪予算」が成立しました。

厚木市長 小林 常良

昨年の改元により、わが国は「令和」の時代を迎えました。万葉集から選ばれた「令和」は、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味を表し、平和を希求する思いが込められています。この思いは、私も同じであり、新たな時代も、市民の皆さまが心を寄せ合い、安心して暮らせる市政運営にまい進してまいります。

昨年は、台風15・19号が全国各地に甚大な被害をもたらし、本市でもダムの緊急放流に伴い緊迫した対応が続きました。市街地の浸水被害も、厚木南地区に設置した雨水貯留施設が機能を十分に発揮

し大事には至りませんでした。災害に対する備えの重要性を改めて認識したところです。安心・安全に暮らせることのありがたさ・大切さを実感するとともに、市民の皆さまを守り抜くことが私の大きな使命であると決意を新たにしました。

エスディーゼーエス SDGsを積極的に推進

昨今、SDGsという言葉をよく聞くようになりました。SDGsは「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の



年頭の記者会見で市政運営のテーマを説明

実現に向けた国際目標です。本市でも、SDGsが標榜する持続可能な社会の実現に向け、AIやロボットなどの活用をはじめ、気候変動対策や循環型社会の構築など、世界の課題解決という視点も



ニュージーランドサッカー協会との事前キャンプ合意書調印式

踏まえながら、目標達成に向けて事業を展開していきます。

あつぎの元気大輪予算を編成

今年の市政運営のテーマは「大輪」です。持続可能なまちづくりの礎となるのは、人と人がつながり、固く絆を深めることによって生まれる大きな人の輪です。この輪を、市民の皆さまと共に大きく広げ、笑顔が咲き誇る、幸せにあふれるまちを築いていきます。

2020年度予算は、長期的な視点や市民の皆さまのニーズを踏まえ「地方創生の推進」「地域包括ケア社会の実現」「都市基盤整備の推進」「防災・減災対策の強化」「東京オリンピック・パラリンピックを契機としたレガシーの創出」「中心市街地の魅力や利便性の向上」の、六つの重点プロジェクトを中心に編成しました。特に、次代を担う子どもたちをはじめ、市民の皆さまの命と暮らしを守り抜くための「安心・安全」につながる事業に重点を置き、「あつぎの元気大輪予算」として、一般会計は859億円、特別会

計を合わせた総額では、1496億円を超える予算規模としました。本年度は、総合計画「あつぎ元気プラン」の最終年度です。計画の総仕上げとなる第4期実施計画を力強く推し進め、新たな総合計画へと確実に橋渡ししていきます。

将来を見据えた持続的な市政運営を

本市を訪れ、その様子を「厚木六勝」や「游相日記」に記した江戸時代の画家・蘭学者の渡辺崋山は「眼前の繰り廻しに百年の計を忘るなかれ」という言葉を残しています。大切なのは将来を見据えた持続可能な市政運営であり、現在の施策は未来につながっていることを常に意識する必要があります。輝かしい未来に向かって、市民の皆さまが明るく元気で幸せに暮らし、一人一人が心の中に大輪の花を咲かせられるよう、誠心誠意、市政運営に取り組んでいき

ます。今年、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される年です。市政運営テーマの「大輪」の「輪」は、「五輪」の「輪」でもあります。オリンピックマークは、五大陸を示す五つの輪が重なって描かれています。本市のまちづくりを表すと、いくつもの輪が重なり合う構図が思い浮かびます。市民、企業、行政などが同じ目線で固く結ばれ、つながり合うことで、大きな人の輪を築き、まちづくりの原動力、推進力として大きな役割を発揮すると確信しています。



整備が進む本厚木駅南口

CONTENTS

あつぎの
元気大輪予算
2020

予算の概要 5

一般会計をチェック 6

六つの重点項目別主要事業

①地方創生の推進 8

◆子育て日常生活支援事業

②地域包括ケア社会の実現 9

◆高齢者継続雇用奨励補助金

③都市基盤整備の推進 10

◆酒井土地区画整理関連事業

④防災・減災対策の強化 12

◆電気自動車電力供給システム整備事業

⑤東京オリンピック・パラリンピックを契機としたレガシーの創出 14

◆オリンピック・パラリンピック支援推進事業

⑥中心市街地の魅力や利便性の向上 16

◆本厚木駅南口関連事業

あつぎ元気プランの着実な推進 18

エスディーゼイズ

SDGsは2015年に国連サミットで採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた国際目標です。市では、SDGsの達成に向けて、持続可能なまちづくりを進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

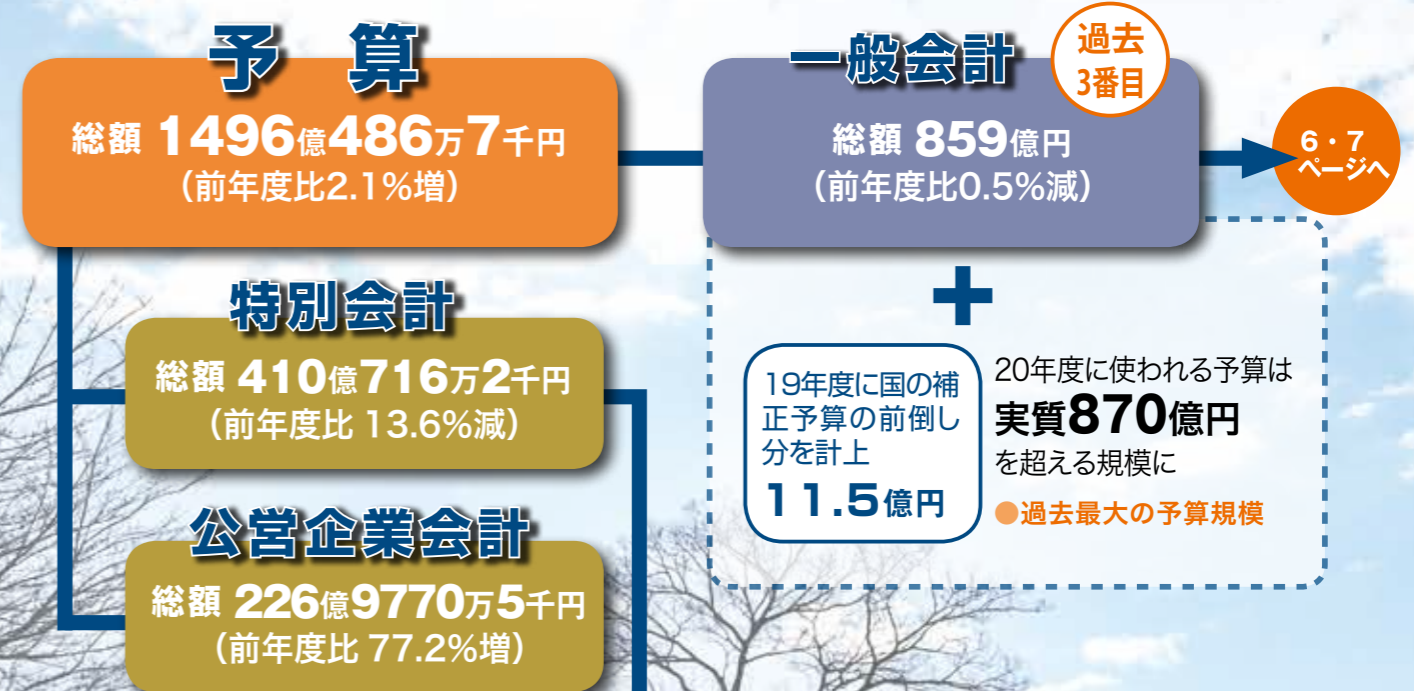


2020年度

あつぎの元気大輪 予算

市民の輪をもって笑顔が咲き誇るまちを築く
「あつぎの元気大輪予算」として編成しました。

問 財政課 ☎225-2170



公営企業会計は、民間企業と同じように事業収入で運営している事業の会計です。病院事業と公共下水道事業が該当します。

病院事業会計

市立病院の運営

- 収益的収支(前年度比)
収益 114億9832万9千円(2.8%増)
費用 119億3594万円(2.9%増)
- 資本的収支(前年度比)
収入 6億2295万6千円(3%減)
支出 10億1751万5千円(15.5%減)

公共下水道事業会計

下水道の建設や維持管理費

- 収益的収支
収益 64億9466万円
費用 63億5187万5千円
- 資本的収支
収入 20億2415万6千円
支出 33億9237万5千円

※公共下水道事業は20年度から公営企業会計に移行

特別会計は、特定の歳入を特定の歳出に充て、目的に応じて使う会計です。市には四つの特別会計があります。

公共用地取得事業特別会計

16億2316万2千円(前年度比14.4%増)
公共用地の先行取得など

後期高齢者医療事業特別会計

32億900万円(前年度比14%増)
後期高齢者への医療給付に必要な保険料の徴収など

国民健康保険事業特別会計

217億7700万円(前年度比3.9%減)
国民健康保険料が主な財源で、被保険者が病気やけがをした場合の給付など

介護保険事業特別会計

143億9800万円(前年度比1.4%減)
介護保険料が主な財源で、被保険者が介護サービスを利用した場合の給付など

一般会計

総額859億円

一般会計は、福祉や防災、道路、教育など市の基本的な仕事の収入と支出を管理する会計です。

歳入

譲与税・交付金

69億8681万円
地方譲与税や地方消費税交付金など

市債

67億3830万円
公共事業の財源とするための長期借入金

国・県支出金

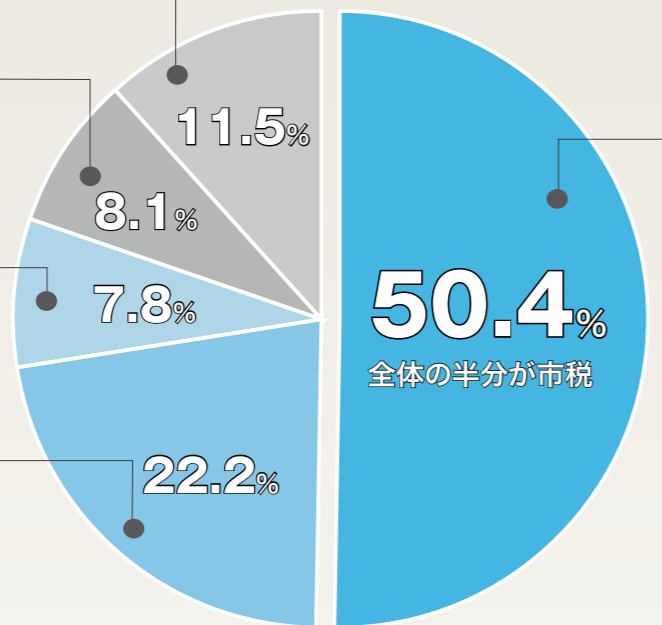
190億4204万円
使い道が特定されている国や県からの補助金

その他

98億5932万円
使用料・手数料、諸収入、基金からの繰入金など

市税

432億7353万円
市民税や固定資産税、都市計画税など
(内訳は下表参照)



<市税収入の内訳>

その他

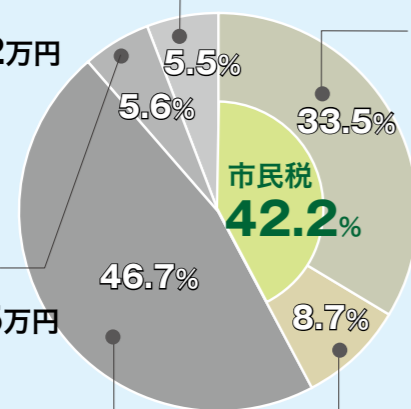
23億8662万円
軽自動車税、市たばこ税、入湯税など

都市計画税

24億3875万円

固定資産税

202億1680万円
土地、家屋、償却資産など



個人市民税

144億6862万円

法人市民税

37億6274万円

貯金と借金

貯金(基金)

年度間の財源調整をする財政調整基金の他、教育、文化振興、災害対策など特定の目的で積み立てる資金です。

基金の合計額

216億294万円
(本年度末見込み額)

借金(市債)

学校や道路など、長期にわたって使用する公共施設の整備に必要な市債(長期借入)を発行します。

市債の残高

577億9583万円
(本年度末見込み額)

歳出

どんなことに使われているの?

目的別

福祉や教育など、行政の目的に着目した歳出の分類

その他

175億9422万円
総務費、商工費、消防費など

公債費

53億1659万円
借り入れた市債の返済

教育費

77億1547万円
学校教育、社会教育、スポーツ振興など

衛生費

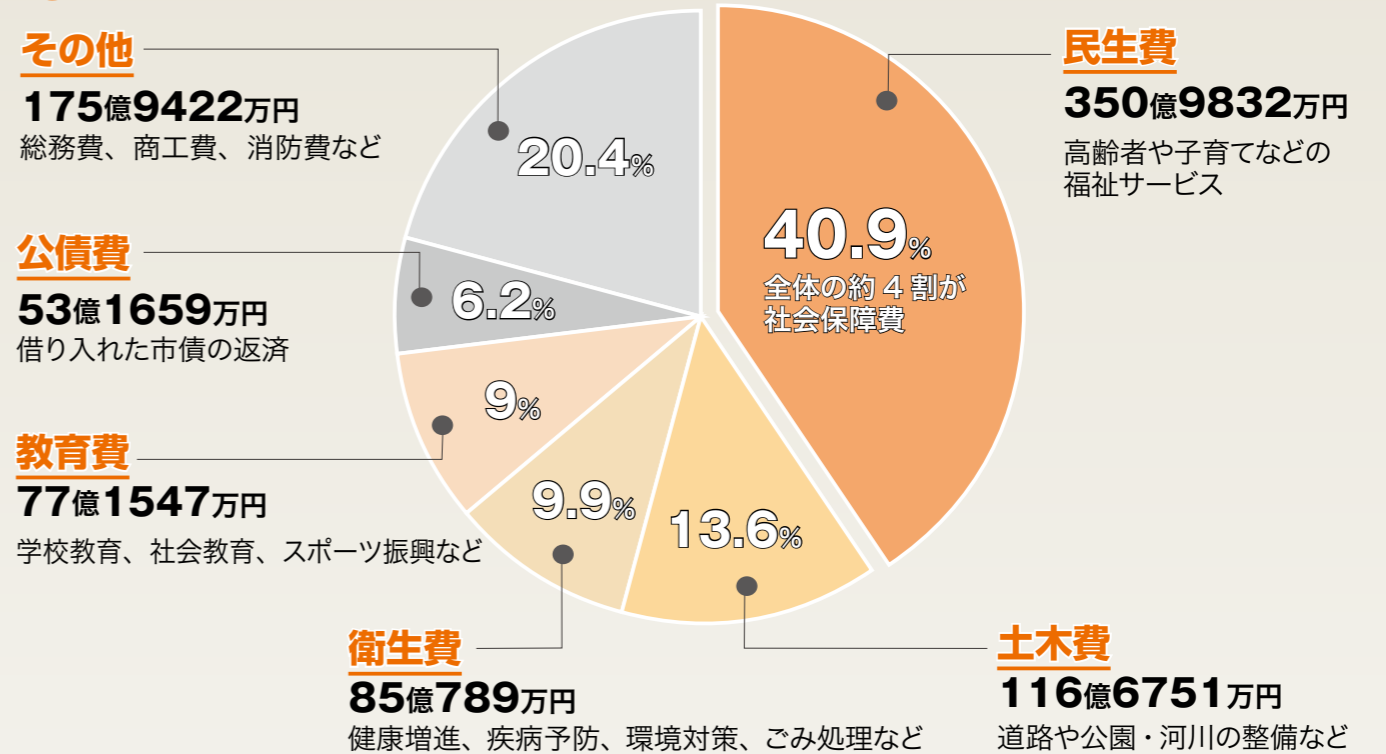
85億789万円
健康増進、疾病予防、環境対策、ごみ処理など

民生費

350億9832万円
高齢者や子育てなどの福祉サービス

土木費

116億6751万円
道路や公園・河川の整備など



性質別

人件費や扶助費など、経費の経済的性質に着目した歳出の分類

その他

196億290万円
維持補修や団体への運営費補助金、基金への積立金など

公債費

53億1659万円
公共事業などの財源として借り入れた市債の返済

普通建設事業費

90億6577万円
道路や公園などの公共施設の建設・改良工事など

扶助費

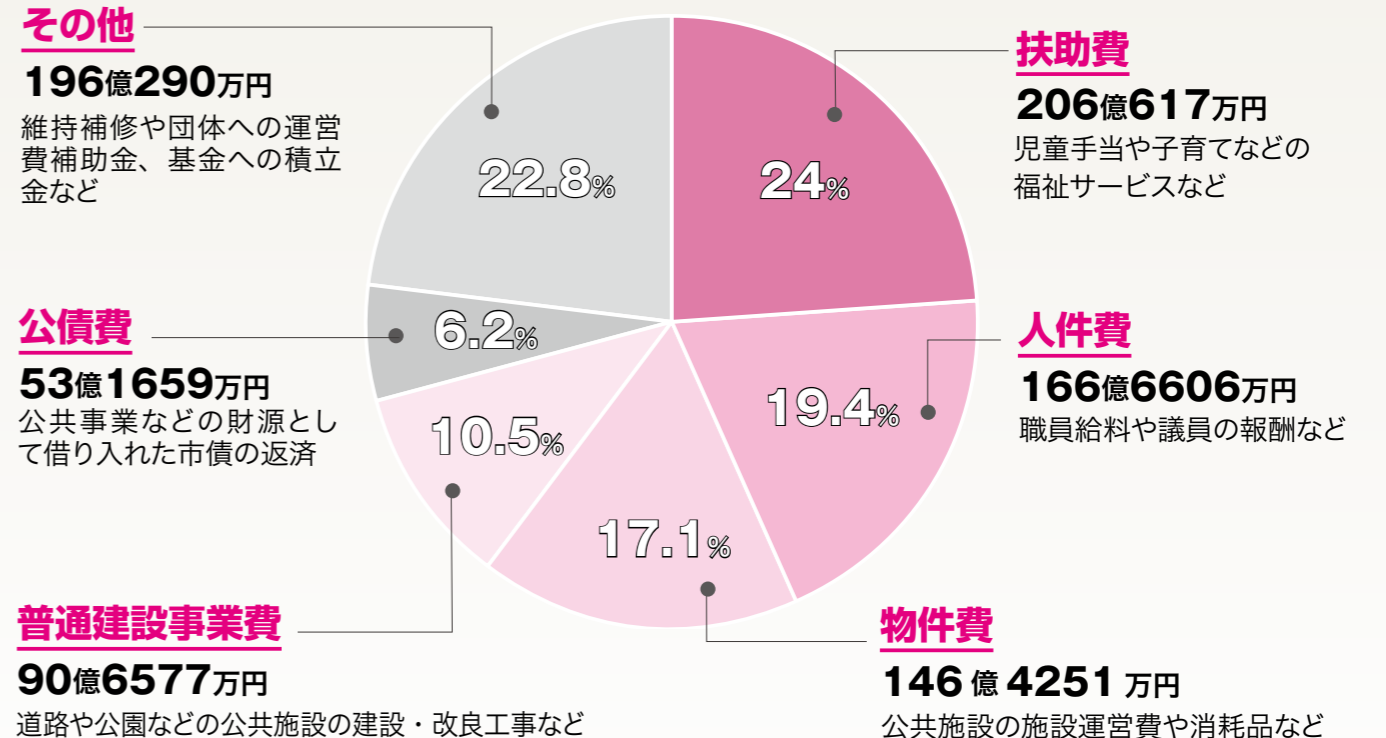
206億617万円
児童手当や子育てなどの福祉サービスなど

人件費

166億6606万円
職員給料や議員の報酬など

物件費

146億4251万円
公共施設の施設運営費や消耗品など



人口の将来展望を実現する

① 地方創生の推進

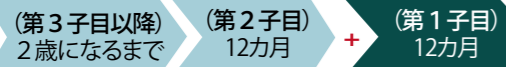
まちの魅力を高め、将来にわたって活力あるまちづくりを進めます。

目玉事業

第1子目も対象にパワーアップ
子育て日常生活支援事業 拡充
約**7500万円** 子育て給付課



子育て世帯に、1カ月4500円以内の紙おむつやおしりふきなどを支給。子育て環境をさらに充実させます。



事業承継とM&Aを実施する中小企業を支援 新規

事業承継支援事業補助金
100万円 産業振興課

市内中小企業の事業を継続させ、技術や顧客、雇用の喪失を防ぐため、事業承継にかかる費用を補助します。
【補助額】上限50万円(補助対象経費の1/2以内)



特別教室への設置に向けた調査をスタート 新規

小・中学校特別教室冷暖房設備設置事業
2000万円 学校施設課

安心・安全で快適な教育環境の確保と、指定避難所としての防災機能強化のため、設置に向けた調査・検討を実施します。

子育て給付課 ☎225-2230・子ども育成課 ☎225-2262・産業振興課 ☎225-2830・学校施設課 ☎225-2601



幼稚園で働くなら厚木で 県内初 新規

幼稚園教諭応援・サポート事業
280万円 子ども育成課

久保子どもの未来応援基金活用事業

- 幼稚園教諭奨学金返済助成金
奨学金で資格を取得し、市内の私立幼稚園で働く方の返済金を助成します。
【助成額】上限20万円/年 ※最長3年(最大60万円)
- 幼稚園教諭転入奨励助成金
市内の私立幼稚園で働く幼稚園教諭が市内に転入する費用を助成します。
【助成額】一律5万円+転入経費上限5万円
- 幼稚園教諭復職等奨励助成金
幼稚園教諭の資格があり、新たに市内の私立幼稚園で働く方に必要な費用を助成します。
【助成額】一律10万円



幼保無償化に伴う保育需要の増大に市単独で対応 拡充

幼稚園・認定子ども園受入体制充実事業
約9000万円 子ども育成課

- 幼児教育支援事業補助金
特別支援教育、預かり保育、外国人児童受け入れなどの経費を補助します。
- 認定子ども園新制度補助金
保育を必要とする子どもの受け入れ枠の拡大や環境整備などの経費を補助します。

誰もが生き生きと暮らせる

② 地域包括ケア社会の実現

誰もが生きがいを持ちながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちを目指します。



目玉事業

高齢者の継続雇用と企業の人材不足を解消 県内初
高齢者継続雇用奨励補助金 新規
約**1000万円** 産業振興課

就労機会の提供による社会参加の促進と、企業の人材確保、技術継承を促すための奨励金を交付します。
【支給額(1人当たり)】市内在住 = 3万円/年
市外在住 = 1万円/年
【対象】66歳以上の方を1年以上継続して常用雇用している市内中小企業(1企業3人まで)



振り込め詐欺被害ゼロを目指します 新規

振り込め詐欺等防止装置購入費補助金
240万円 セーフコミュニティくらし安全課

70歳以上の方がいる世帯が録音機能付き電話機や後付け装置を購入する費用を補助します。
【支給額】上限6千円/台(購入費の2/3)
【補助期間】2022年度末まで



ハイリスク者へ^{かくたん}喀痰細胞診を追加 拡充

がん検診事業
約**5億円** 健康づくり課

各種がん検診に加え、肺がんの施設検診で、胸部エックス線検査とハイリスク者への喀痰細胞診を併用して実施します。



市権利擁護支援センターを充実 拡充

高齢者の尊厳保持支援事業
約**1300万円** 介護福祉課

市民後見人養成のための研修や、成年後見制度・高齢者や障がい者の虐待相談などの他、被成年後見人や成年後見人を地域で支え合う地域連携ネットワークを構築します。

産業振興課 ☎225-2830・セーフコミュニティくらし安全課 ☎225-2148・介護福祉課 ☎225-2220・健康づくり課 ☎225-2201

将来にわたって活力あるまちであり続けるための
③ 都市基盤整備の推進

新たな産業拠点の創出や道路整備に取り組み、地域経済を活性化します。

目玉事業

本格的にスタート

**酒井土地区画整理
 関連事業**

拡充

約**6.4億円** まちづくり推進課

早期の産業用地創出と企業誘致に向け、酒井土地区画整理組合を支援します。

【本年度の主な取り組み】

- ・市補助金の交付
- ・関連道路水路の整備に向けた測量と設計



酒井地区の整備イメージ

2024年度整備完了予定

B工区が6月整備完了予定・進出企業も1社決定

森の里東土地区画整理関連事業

約**2.3億円** まちづくり推進課

早期の産業用地創出と企業誘致に向け、森の里東土地区画整理組合を支援します。

【本年度の主な取り組み】

- ・社会資本整備総合交付金の市負担分と公共施設管理者負担金の支出
- ・関連排水路の整備



2023年度整備完了・企業立地予定のC工区



2020年6月整備完了予定・企業1社決定のB工区

既に企業が操業しているA工区

環状3号線、いよいよトンネル工事に着工

一部新規

**街路整備関連事業
 (環状3号線・本厚木下津古久線)**

約**24億円** 道路整備課

安全で快適な交通ネットワークの構築と、新たな産業拠点となる地域へのアクセスを向上し企業誘致につなげるため、都市計画道路を整備します。

■厚木環状3号線 2022年度一部開通予定

森の里東土地区画整理事業の施行地区へのアクセス道路としての役割も備える。



■本厚木下津古久線

新東名高速道路や酒井土地区画整理事業の施行地区へのアクセス道路としても機能する。

国道246号などの渋滞解消に期待

県内初

**厚木秦野道路用地取得事業
 公共用地取得事業特別会計**

約**10億円** 道路管理課

厚木秦野道路の早期整備促進に向けて、国の用地国債先行取得制度を活用し、国に代わって事業用地を先行取得します。取得した用地は、4年以内に国が買い戻します。



2018年 約10億 + 2019年 約10億 + 2020年 約10億 早期整備の実現に向け 3年間で約30億円の投資

安心・安全の推進

4 防災・減災対策の強化

地域と連携して、地震や風水害などの災害対策に取り組みます。



目玉事業

避難所で約2日分の電力を供給

電気自動車 電力供給システム整備事業

約1600万円 危機管理課

新規

公民館などの指定緊急避難場所で、停電時に非常用電源を確保するため、電気自動車から給電設備に電力供給を受けるための整備を実施します。

【整備箇所】公民館16カ所
保育所4カ所



災害から身を守る

県内初 新規

地区別防災マップ・ オールハザードマップ作成事業

約2200万円 危機管理課

近年頻発している災害に対応できる地区別

防災マップを作成。震度分布図、液状化分布図や最新の土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を反映したオールハザードマップも作成し、全戸に配布します。



オールハザードマップのイメージ

市民生活の復旧・復興を支援するシステムの構築 新規

被災者支援システム整備事業

約2400万円 危機管理課

大規模災害時に市民生活の復旧を支援するため、被害認定調査や罹災証明書の発行などを迅速に行う被災者支援システムを構築します。

局地的な集中豪雨などに備えて

拡充

厚木排水区浸水対策北貯留管整備事業

公共下水道事業会計 9億円(全体事業費29.8億円)

下水道施設課

本厚木駅周辺の厚木排水区での浸水被害を軽減するため、厚木北地区(厚木中央公園内北西角～大型バス発着場北側付近)に雨水貯留管を整備します。

2022年度
整備完了予定

厚木排水区浸水対策
マップ
※直径2.4mの管を
1130m整備



シールドマシンのイメージ

(2020年度)
シールドマシン製作

貯留管を整備するために地中を掘削するシールドマシンの製作

消防・防災機能を強化

拡充

消防庁舎整備関連事業(南毛利・相川分署)

約2.5億円 消防総務課

あらゆる災害に迅速・的確に対応するため、消防・防災拠点である南毛利分署と相川分署を移転整備します。

相川分署の新築イメージ



2021年度整備完了予定

市内全域に救命ボートを追加配備

新規

消防団救命ボート整備事業

約900万円 警防課

近年大型化する台風や局地的な集中豪雨などによる被害から市民の皆さんの命と暮らしを守るため、洪水浸水対策の一環として、各署所に配備済みの9艇に加え、消防団へ救命ボート(各地域1艇、計8艇)を追加配備します。



5 2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機としたレガシーの創出

次代を担う子どもたちの夢と希望を育みます。



目玉事業

将来の「あつぎ」につなげるレガシーの創出 オリンピック・パラリンピック 支援推進事業

拡充

約**7800万円** 企画政策課

東京五輪・パラリンピック競技大会の事前キャンプの受け入れや、本大会の観戦の機会を市民の皆さんに提供します。レガシー創出のため、ニュージーランドとのホストタウン事業も実施します。

【事前キャンプ受け入れ競技】

- ・車いすラグビー
- ・サッカー
- ・ゴルフ
- ・バスケットボール



心に残る感動体験を

新規

オリンピック・パラリンピック体験支援事業

約**1000万円** 教育指導課

学校連携チケットを活用し、児童・生徒に観戦の機会を設けます。

【チケット枚数】4989枚

【競技】五輪(野球、ソフトボール、サッカー)

パラリンピック(陸上競技)



聖火リレーの記憶を後世に

新規

オリンピック聖火リレー 記念施設整備事業

500万円 道路維持課

東京五輪の聖火リレーを記念し、リレーコースとなる市道内に、後世に残る記念パネルなどを設置します。

国際社会で活躍できる人材を育成

英語教育推進事業

約**4700万円** 教育指導課

市立小・中学校への外国語指導助手の配置や、英語を体験的に学ぶAKG(あつぎキッズガイド)プロジェクトなどを実施し、英語によるコミュニケーション能力を育む教育を推進します。



車いすラグビー

NZ事前キャンプ



サッカー

東京パラリンピック出場決定。世界ランキング10位。8月14～22日に事前キャンプを実施



男女共に東京五輪出場決定。7月4～14日に事前キャンプを実施



厚木市は、ニュージーランドのホストタウンとしてキャンプ誘致や相互交流を進めています。

ゴルフ

厚木で実施



バスケットボール

現時点で男女共に出場圏内。6月の世界ランキングで東京五輪の出場が決まる

男子代表、スリー・エックス・スリー代表が東京五輪出場を目指している。6月の大会で出場の可否が決定

column 東京五輪・パラリンピック

東京大会に向けた、厚木市の最新情報をお届けします。

子どもたちの教育交流

異国の文化に触れ、国際的な視野を育むため、教育面での交流にも力を入れています。



FLY TO NZ PROJECT

市内在住の中学・高校生がNZを訪問し、ホームステイなどで異国の文化を体験しています。

対象 市内の中学・高校生各10人程度

【小・中学校での交流】

- ・インターネットを使ったオンライン交流
- ・キャンプ実施時の選手の学校訪問 など



Check! 出場を目指す 厚木市出身選手



山田恵里さん(右) ソフトボール選手。04年アテネ五輪銅メダル、08年北京五輪金メダル獲得。日本代表では主将を務める。
鈴木百萌子さん(左) 車いすバスケットボール選手。15年に日本代表に選出。センターで東京パラリンピック出場を目指す。

市民ニーズによる重点プロジェクト

⑥ 中心市街地の魅力や利便性の向上



中心市街地の施設整備を進め、快適で住みよいまちをつくりまします。

目玉事業

五つの関連事業が全て完了

本厚木駅南口関連事業

約8.2億円

市街地整備課、交通安全課、広報課、情報政策課

新規 拡充

本厚木駅南口地区で交通結節点の機能を強化するとともに、魅力ある駅周辺の顔づくりを目指し、駅前広場や地下2階地上22階建てとなる再開発ビルを整備。地下1階には新たに市営自転車駐車場(612台)を整備します。

【駅前広場】 デジタルサイネージを6基設置し、市からのお知らせなどの情報を積極的に発信する他、気軽にインターネットに接続できるWi-Fi環境を整備します。



デジタルサイネージを駅前広場に6基設置



整備が進む本厚木駅南口

本厚木駅南口イメージ

2020年度整備完了予定



Wi-Fi環境整備
南口で気軽に
ネット接続

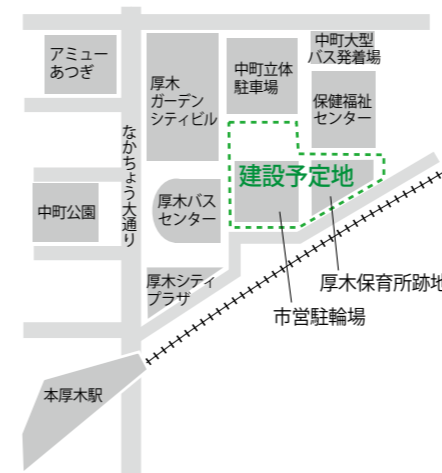
- 再開発ビル整備
地下2階
地上22階
- 駅前広場整備
4260平方m
拡充整備
- 自転車駐車場
再開発ビル
地下に612台
- デジタルサイネージ
駅前広場に
6基設置
- Wi-Fi環境整備
南口で気軽に
ネット接続

2025年度の完成を目指し、複合施設と周辺交通アクセスを整備

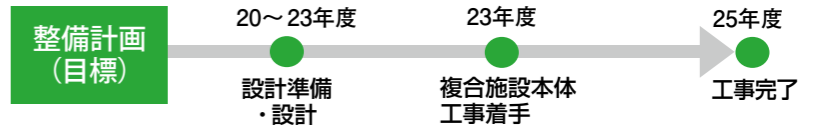
中町第2-2地区周辺整備関連事業

約1.1億円 市街地整備課、道路整備課

中心市街地の新たな中核拠点となる図書館、(仮称)未来館、市庁舎などで構成する複合施設の設計に向けた準備を進めます。また、市道A-358号線の歩道整備と、都市計画道路中町北停車場線の整備を計画します。



中町第2-2地区周辺地域



本厚木駅北口周辺地区と駅北口広場の都市機能更新に向けて

新規

本厚木駅北口周辺整備関連事業

約1600万円 市街地整備課

本厚木駅北口周辺の都市機能更新に向けた取り組みを推進。市街地再開発準備組合が実施する組合設立促進事業に要する経費の一部を補助します。



本厚木駅北口周辺の様子

愛甲石田駅北口広場の拡張を基本とした整備構想の検討

拡充

愛甲石田駅周辺整備関連事業

7900万円 市街地整備課

広場の拡張を基本とした整備構想を検討。既に取得した用地を活用し、愛甲石田駅北口広場の一般車と公共交通の錯綜を改善するため、暫定整備を実施します。



愛甲石田駅の様子

◆あつぎの元気大輪予算2020・その他の主要な事業

あつぎ元気プランの着実な推進



目玉事業

ソフトウェア上のロボットで業務工程を自動化 RPA等導入事業

新規

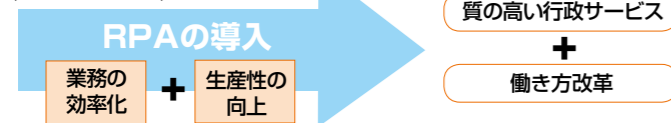
700万円 行政経営課

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）などの新技術を導入し、さらなる業務の効率化や生産性向上につなげ、より質の高い行政サービスを提供します。

【導入業務】

- ・市民税特別徴収事務（市民税課）
- ・住民票等証明発行事務（市民課）

〈RPAイメージ〉



持続可能な循環型社会の実現を目指して 拡充

ごみ減量化・資源化推進事業

約11.1億円 環境事業課



【学校給食における食品廃棄物減量化・資源化モデル事業】

《資源化（メタン発酵による発電）》

- 対象とする施設＝南・北学校給食センターと小・中学校8校を予定

《減量化（生ごみ処理機）》

- 対象とする施設＝小・中学校4校を予定

持続可能な循環型社会を目指し、学校給食から排出される食品廃棄物の減量化・資源化モデル事業を実施するとともに、製品プラスチックの資源化モデル地区事業や、紙おむつの資源化に向けた調査を実施します。



【製品プラスチック資源化モデル地区事業】

- 対象は100%プラスチックの製品（例：洗面器、ゴミ箱、バケツなど）
- 市内2地区をモデル地区として選定し、月1回収集

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して 新規

SDGs推進事業

300万円 企画政策課

スマートフォンアプリを導入し、SDGs（P4参照）につながる市民活動に、各種特典などのサービスに利用できるポイントを付与する「SDGsつながりポイント」事業を実施します。



つながりポイントのイメージ

災害や緊急時、スマホなどを意識した機能強化 新規

ホームページリニューアル事業

約4800万円 情報政策課

スマートフォンなどのモバイル端末機での利用を意識した画面構成の見直しや、災害時などに速やかに情報を発信する機能の強化など、市民ニーズを踏まえた利用しやすく分かりやすいホームページを目指し、全面リニューアルを実施します。

交通事故や刑法犯認知件数が大きく減少

セーフコミュニティ推進事業

約1600万円 セーフコミュニティくらし安全課

セーフコミュニティの考え方や手法を用いた事故やけがの予防政策の取り組みを市民協働で実施し、誰もが健康で安心・安全に暮らせるまちづくりを進めます。

【3回目の認証取得へ】

7月 現地審査

11月 認証式典、安心安全フェスタ（同時開催）



2021年
4月
スタート

column 新たな総合計画

2020年度で満了を迎える「あつぎ元気プラン」に続く、新しい計画の策定を進めています。多くの皆さんの声を取り入れ、確かな未来の設計図を作っていきます。

多くの声を聴くため意見交換会やワークショップなどを開催



今後の予定

パブリックコメントや意見交換会を開催し、引き続き皆さんの声を聴きながら策定を進めます。詳しくは広報あつぎや市ホームページでお知らせします。



リラックスした雰囲気の中で意見を出し合ったワークショップ



市民検討会議から提言を受けた理想のまちの姿は「活気と幸せが満ちあふれ、誰もが希望と生きがいを持てる 住みたいまち日本一を目指し、チャレンジし続ける厚木」

厚木で過ごした
素敵な時間を
SNSで共有



市公式
ハッシュタグ

niceatsugi

皆さんもこのハッシュタグを使って
インスタグラムなどで
厚木の魅力を発信しませんか。

インスタグラム
厚木市公式
アカウント▶
@atsugi_city



niceatsugi大賞

niceatsugiを付けて
投稿された写真などから
毎月7作品を選出。
詳しくはこちら▶

